

時事新報

地價の低減

今度法律第二十二號を以て地價の特別修正を公布し來る明治二十三年より修正の地價に依り地租徵收の事となりたるに就ては昨日の雜報にも記せし通り地價低減の總額は凡一億二千九百萬餘にして地租は之が爲めに三百六七十萬圓地方税は百萬圓合計殆んど五百萬圓を減する割合ありと云ふ抑も地價低減の起りは昨今の事であらずして今の全國の地價は地租改正より定りられたるものがあるが當時の事情も過つて察するに改正の事たる未嘗有の大事件にして其始末當りては當局の人々も雖も聊か其成否を疑ひし程の大策にして且つ最初に着手したる部分には官民雙方ともに事に不慣の事情もあり旁々丈量の手續頗る寛大ありしが故に意外の恩澤に浴せし處も少なからざりしかども次第に事の拙さるるに隨ひ手續も整頓して以前の如くならず爲り既同じ改正も其前後に由り大に不幸の場感なきにあらざり又其地價を定めたるは何を以て標準とせしたるやと云ふに近傍の市邑宿驛等の米價を取り之を平均して其地の地價を定めたるものなるが當時國中運糧の便は未だ今の如く開けずして隨て各地方ともに物價の相違甚だしかりし其時代の平均米價にて定めたるものなれば今日より見れば全國の地價平均を失して不公平少なからず事草々人心未だ安からざる時に當り改正を屢して却て事を騒々しくするは政略の計さざる所にして不公平とは知りながら若くは過ごしたる事ありあらんかかれども時勢の變遷するに隨ひ其不公平は益々く度を増し來りて到底忍ぶ可きならざれば政府に於ても今度修正の事に及びたるからん誠々美事として全國の人民は遂に始めて年來の不平苦情を伸暢するを得て與に均霑の澤に浴する事ならんと我輩に於ては誠々欣喜の情を表する者なり然るも世間にては既と爲すものなきにあらざりて曰く地租の減額は誠々喜ぶ可しと雖も三百萬圓は政府の歳入中少からざる金額なるに於ては目下政費多端を告ぐるの際、國庫は決して斯る減額を許さざる可ければ政府は一方に地租を減じたる其傍に一方には更なる他の稅源を求め其不足を補充する計畫を以て近々新稅則の發布ある可しなどいふ者ありども取るに足らざる妄説なりと云はざるを得ず如何なるに若し政府が一方に地租を減じながら又一方に新稅源を開くときは唯ふれを右に與へ左に與へるものにして小兒を欺く手段と過ぎず斯る兒童の戲言は政府の爲す可らざる所なればあり且つ我輩の聞所に據れば政府は從來の財政の有様にては諸國の稅自給、意外に收入の多きものあり又は政費節減の實行等にて今の地價に關し凡そ一割位は容疑も減額するを得べしとの計算にて數年前より既に其議ありし由り今度の低減も全く此邊の計畫に出でたるものにして他に奇策もあらざる可きは我輩が衆人と共に偏に信を擧ぐ所あり左れば新稅源云々の説は全く無根なり

府縣の官吏は何を標準とするやと云ふに固より尋常一様の人間なれば目以て之を見、心も左なりと認めたる所に依りて之を定むるの外ある可らず然るに足るを知らざるは世間普通の人情にして他人の福新幸を得るものを見れば己れは從來満足の地位に在りながら自ら之を忘れて只管他を羨むの情なき能はず今度の改正にて低減の恩澤に浴したる者共は今日に至りて漸く他人が既に十年前に得たる地位に達し始めて年來の不平を伸べたるまでにして特別の利益を受けたる次第にはあらざれども例の人情卑劣の常として前者より之を見れば何か一種の僥倖として恰も隣家の盛事を嫉むの情に堪へず然かのみならず其新に恩澤に浴するものの中にも其中に入入りて見れば從來の仕來りて人々の感覺により厚薄輕重一様の思を爲す能はずして其苦情は一方ならざる可し今度の修正に恩澤均霑の精神にして其恩恵は農家一般の感佩する所なれども施行の實際には右の通りの次第にして苦情も少からざる事なれば當局者は能く此邊に注意し呉々も折角の盛事を空うせしめざる様いたし度事あり

静寛院宮十三回法會

來月二日は徳川十四代將軍家茂公の御靈所故靜寛院宮(和宮)の十三回忌に相當するを以て芝増上寺に於て法會を執行するに付き皇太后兩陛下には當日午前七時御代拜として侍從、女官等を參向させ給ひ徳川家達公を始め一門の諸氏何れも參拜するよし

新稅は起さず

一昨廿六日法律第二十二號を以て發布になりたる三府四十縣の地價低減は政府近來の一英斷として其之を公布するに至る迄には熟考に熟考を加へ之ならざりと思ふ所にて發表せし者あらんれば當局の有司が其の間の苦心盡力は勅文に「朕地租改正以來ノ實歴ニ徴シ此法律ニ指定スル府縣ノ田畑ニ限り地價低減ノ必要ヲ認メ地價ノ特別修正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム」とあるを見て推測するに難からず既に地價一億二千九百萬圓を低減すれば其地價を標準として割出したる地租金額の減すべきは云ふ迄もなく地方税も亦減じて二者低減の割合して大凡そ五百萬圓に達するといふ然るも今道路の風説も依れば農民の負擔は商工業者に比して偏重の嫌あれば此の弊を矯むる爲り國稅中より新營業稅なる一課目を加へて年々五百萬圓を徴せんとすの豫算なれども新稅實施の初年度は調査不行届の虞もありて豫算額は逆も徴收し得ざれば初年は極々安積りにして其半額二百五十萬圓とするも官制を改革して政費を削減し吏員を削減せば今度低減したる地租金額の不足を補充するに堪へし此邊の事に就ては當局者の胸中既に成算あれば國庫の歳入上に就ては左邊の如く及ばざるなりと云ふものある由なればも亦今度の地價低減の爲す之が補充として新稅と起さずしとの事なり

和歌山縣の水害概況

(前號の續) 第二各郡村の水害 前記の如く和歌山市中の浸水は名草郡の各村を浸したる餘波を及せるものなるが故に水元本川堤防破壊の衝に當りたる村落即ち和佐村宇布施屋(潰決堤防は長百間、八十間、九十間の三箇所あり)和佐村宇和佐中(同長六十間)西和佐村宇岩橋(同長五十間)四ヶ郷村宇本(同長四十間)等の如きは最も甚しく流家、死傷人も少からず困難の際あれば郡役所警察署等の調査も精確ならずとも二十三日午後六時までの調査に據れば本郡中の溺死人は朝日村に七人、川邊村に一人都合八名、負傷者一名、流失倒家三十一戸、流失橋梁十二箇所、浸水田畑千七百十餘町歩、浸水家屋三千七百五十餘戸、食料の救助を受けしもの十九日以來の延數は三萬五千五百餘人ありと云ふ

有田郡の水害

本郡の水害も亦た紀ノ川堤防潰決の爲めとして損害少からず今二十三日夕刻までの調査には同郡内に潰決したる堤防は都合十三箇所、其長一、千零八十五間に達し流失倒家は九箇村二百二十六戸、浸水の家屋は四百二十九戸、田畑の浸水面積は七百三十餘町歩あり以上の統計は全郡のものにあらず漏れし分少からざるを以て實際は更らに大なるものあるべし伊都郡の水害 伊都郡は紀ノ川の上流に位し居れども同川の増水は極度一丈二尺餘に達したり潰決の堤防三箇所ありて潰家もあり浸水家屋も少からずと雖も先づ以て今回の水難は縣下の輕きものにして其損害も他郡の如く大ならざるよし

日高郡の水害

本郡日高川の増水は地盤より一丈五尺餘(他の報告に高さ十間とあれども信し難しとあり)及び所々の堤防を破壊し山を崩し田面を浸し家屋を流す等數ふるに違わらず今一二被害の例を擧れば日高川上流ある藤井村の堤防破壊したる爲り天村宇若江の如きは人畜六十餘戸の中僅か二戸を瀕して流失に歸し死者五十餘名あり又日高郡役所浸水の高さ調査の報に上流は三尺餘に達し飯沼等村等土中より埋りたりと云ふ又同郡細村の如きも戸數三十餘の中二十餘戸を流失して死傷人少からざりし等と始めとして同郡の小市街

和歌山縣の水害概況

(前號の續) 第二各郡村の水害 前記の如く和歌山市中の浸水は名草郡の各村を浸したる餘波を及せるものなるが故に水元本川堤防破壊の衝に當りたる村落即ち和佐村宇布施屋(潰決堤防は長百間、八十間、九十間の三箇所あり)和佐村宇和佐中(同長六十間)西和佐村宇岩橋(同長五十間)四ヶ郷村宇本(同長四十間)等の如きは最も甚しく流家、死傷人も少からず困難の際あれば郡役所警察署等の調査も精確ならずとも二十三日午後六時までの調査に據れば本郡中の溺死人は朝日村に七人、川邊村に一人都合八名、負傷者一名、流失倒家三十一戸、流失橋梁十二箇所、浸水田畑千七百十餘町歩、浸水家屋三千七百五十餘戸、食料の救助を受けしもの十九日以來の延數は三萬五千五百餘人ありと云ふ

有田郡の水害

本郡の水害も亦た紀ノ川堤防潰決の爲めとして損害少からず今二十三日夕刻までの調査には同郡内に潰決したる堤防は都合十三箇所、其長一、千零八十五間に達し流失倒家は九箇村二百二十六戸、浸水の家屋は四百二十九戸、田畑の浸水面積は七百三十餘町歩あり以上の統計は全郡のものにあらず漏れし分少からざるを以て實際は更らに大なるものあるべし伊都郡の水害 伊都郡は紀ノ川の上流に位し居れども同川の増水は極度一丈二尺餘に達したり潰決の堤防三箇所ありて潰家もあり浸水家屋も少からずと雖も先づ以て今回の水難は縣下の輕きものにして其損害も他郡の如く大ならざるよし

日高郡の水害

本郡日高川の増水は地盤より一丈五尺餘(他の報告に高さ十間とあれども信し難しとあり)及び所々の堤防を破壊し山を崩し田面を浸し家屋を流す等數ふるに違わらず今一二被害の例を擧れば日高川上流ある藤井村の堤防破壊したる爲り天村宇若江の如きは人畜六十餘戸の中僅か二戸を瀕して流失に歸し死者五十餘名あり又日高郡役所浸水の高さ調査の報に上流は三尺餘に達し飯沼等村等土中より埋りたりと云ふ又同郡細村の如きも戸數三十餘の中二十餘戸を流失して死傷人少からざりし等と始めとして同郡の小市街

和歌山縣の水害概況

(前號の續) 第二各郡村の水害 前記の如く和歌山市中の浸水は名草郡の各村を浸したる餘波を及せるものなるが故に水元本川堤防破壊の衝に當りたる村落即ち和佐村宇布施屋(潰決堤防は長百間、八十間、九十間の三箇所あり)和佐村宇和佐中(同長六十間)西和佐村宇岩橋(同長五十間)四ヶ郷村宇本(同長四十間)等の如きは最も甚しく流家、死傷人も少からず困難の際あれば郡役所警察署等の調査も精確ならずとも二十三日午後六時までの調査に據れば本郡中の溺死人は朝日村に七人、川邊村に一人都合八名、負傷者一名、流失倒家三十一戸、流失橋梁十二箇所、浸水田畑千七百十餘町歩、浸水家屋三千七百五十餘戸、食料の救助を受けしもの十九日以來の延數は三萬五千五百餘人ありと云ふ

有田郡の水害

本郡の水害も亦た紀ノ川堤防潰決の爲めとして損害少からず今二十三日夕刻までの調査には同郡内に潰決したる堤防は都合十三箇所、其長一、千零八十五間に達し流失倒家は九箇村二百二十六戸、浸水の家屋は四百二十九戸、田畑の浸水面積は七百三十餘町歩あり以上の統計は全郡のものにあらず漏れし分少からざるを以て實際は更らに大なるものあるべし伊都郡の水害 伊都郡は紀ノ川の上流に位し居れども同川の増水は極度一丈二尺餘に達したり潰決の堤防三箇所ありて潰家もあり浸水家屋も少からずと雖も先づ以て今回の水難は縣下の輕きものにして其損害も他郡の如く大ならざるよし

日高郡の水害

本郡日高川の増水は地盤より一丈五尺餘(他の報告に高さ十間とあれども信し難しとあり)及び所々の堤防を破壊し山を崩し田面を浸し家屋を流す等數ふるに違わらず今一二被害の例を擧れば日高川上流ある藤井村の堤防破壊したる爲り天村宇若江の如きは人畜六十餘戸の中僅か二戸を瀕して流失に歸し死者五十餘名あり又日高郡役所浸水の高さ調査の報に上流は三尺餘に達し飯沼等村等土中より埋りたりと云ふ又同郡細村の如きも戸數三十餘の中二十餘戸を流失して死傷人少からざりし等と始めとして同郡の小市街

和歌山縣の水害概況

(前號の續) 第二各郡村の水害 前記の如く和歌山市中の浸水は名草郡の各村を浸したる餘波を及せるものなるが故に水元本川堤防破壊の衝に當りたる村落即ち和佐村宇布施屋(潰決堤防は長百間、八十間、九十間の三箇所あり)和佐村宇和佐中(同長六十間)西和佐村宇岩橋(同長五十間)四ヶ郷村宇本(同長四十間)等の如きは最も甚しく流家、死傷人も少からず困難の際あれば郡役所警察署等の調査も精確ならずとも二十三日午後六時までの調査に據れば本郡中の溺死人は朝日村に七人、川邊村に一人都合八名、負傷者一名、流失倒家三十一戸、流失橋梁十二箇所、浸水田畑千七百十餘町歩、浸水家屋三千七百五十餘戸、食料の救助を受けしもの十九日以來の延數は三萬五千五百餘人ありと云ふ

Table with exchange rates and prices for various goods like rice, oil, and other commodities. Columns include item names and prices in different units.

Table with shipping schedules for various routes, including destinations like Osaka, Kobe, and other ports. Columns include ship names and departure times.

Table with shipping schedules for various routes, including destinations like Osaka, Kobe, and other ports. Columns include ship names and departure times.

Table with shipping schedules for various routes, including destinations like Osaka, Kobe, and other ports. Columns include ship names and departure times.